



鳥取県東部中小企業青年中央会

- ◆発行人 岡本 安量 (平成16年度・会長)
- ◆編集責任者 平井 義一 (情報委員会委員長)
- ◆編集委員会 情報委員会

URL : www.tsc21.gr.jp E-mail : tsc@tsc21.gr.jp

綱領 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

平成17年度テーマ

『感動』 独自価値を高めよう！

《平成16年度テーマ》

『挑 戦』

岡本
安量
平成16年度会長



一年を終えて

30周年という大きな節目の年を終え、たいへん忙しい一年間でありましたが、大きな手応えを感じた一年になりました。

皆さんと共に周年事業を行って、東部青年中央会は大きく変わりつつあります。年度の始まりに、周年の年を0からのスタートにしよう！ビジネスに拘り強い会社、儲かる会社作りをしよう！

青年中央会の内部整備をしよう！魅力ある青年中央会を作ろう！青年中央会ブランドを構築しよう！など、たくさんの目的、目標を持ち活動を繰り返してきました。やはり、大きな影響があったのは4回に渡り行った記念シリーズ講演『事業成功へのプロローグ』ではないでしょうか。青年中央会内部に収まらず外部の方からも、たいへん良い評価をいただいたと思います。

その後、会員皆さんの委員会活動の手法も内容も変わったのではないのでしょうか！また、2月例会での鳥取市出身20代で年商20億の会社を経営する四宮さんの講演は、同郷の人間として、同年代の人間として、身近に話が聞け、いろんな意味で良い刺激があったのではないかと思います。まさに昨年作り上げたキャッチフレーズ『時代に挑み、次代を創る』の1年間ではなかったでしょうか。

その中で、3月例会の『もっと輝け40周年』。40周年に向けて21代から27代の元会長に参加していただきパネルディスカッション方式で行われた例会では、過去の青年中央会、現在の青年中央会、そして未来へたいへん貴重な意見を頂きました。この30年間の会の象徴である綱領の『英知、友愛、団結』を再認識し青年中央会の歩み方を考えさせられた例会でした。

イベントではスペシャル版で、外部へのアピール、また行政とのかかわりも強いものになったのではないのでしょうか。

この1年間の活動を振り返り考えると、会の方向性は決まりつつあります。

まだまだたくさんの経験、活動が必要だと思いますが、魅力ある青年中央会作り、ビジネスに特化した会、青年中央会ブランドの構築に。会員の皆様、今後も一緒に頑張ってください！

《平成17年度テーマ》

『感 動』

勝原
章
平成17年度会長



感動の一年に

昨年度は、東部青年中央会が創立30周年という節目の年にあたり、多くの皆様に大変お世話になり本当にありがとうございました。

私たち東部青年中央会の会員は、この30周年を迎えるにあたり、今後の東部青年中央会の方向性が、どうあるべきかを考えました。そして県全体の青年中央会でキャッチフレーズ『時代に挑み、次代を創る。』が決まりました。時代を見据え、挑戦と創造を繰り返し、一歩先を見つめ歩いていく会の姿です。

また、東部としては行動指針として4つの挑戦を掲げ、ビジネスに特化した会を目指すことが決まりました。31年目の東部青年中央会は、この行動指針が机上の概念から具体的な活動に踏み出す大切な年であると考えています。

そこで、今年度のテーマはビジネスに特化する切り口として『感動』を掲げたいと思います。企業の経営者やリーダーにとって大切なことは、社員が感動できるくらい熱く仕事に取り組める環境を作ること、また商品やサービスを通じてお客様に感動してもらうレベルに達することが重要なスキルであると考えます。

今年度の青年中央会活動において、どうすれば会員や周りの皆様を感動させることができるかを考えていきます。この『感動』をテーマに多くの知恵を出すことにより、会員の皆様が、経営者・リーダーとしての重要なスキルを習得できれば幸いです。

また、運営方針は、『独自価値を高めよう』です。私たち東部青年中央会のメイン行事である手作り例会、委員会活動において今まで以上にビジネスを意識して活動していきます。会員の会社にとって、少しでも役立つスキルを持ち帰ることで、「とても勉強できた。」「充実して楽しかった。」と多くの会員に言ってもらえるよう努力していきます。そしてビジネスに特化することが青年中央会の独自価値として、他団体との差別化できるように、より明確に活動していきたいです。

一年間、会のために私自身が感動できるくらい精一杯頑張りたいと思いますので、会員、OBの方々、また東部青年中央会に関わる多くの皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。

ご卒業おめでとうございます。

.....6月卒業例会.....

ご苦労さまでした



小瀧 正俊氏
株式会社人形のはなふさ



山本 典浩氏
大西木材株式会社



馬場 和人氏
有限会社馬場農機商会



栗崎 正徳氏
中央印刷株式会社



池田 照男氏
目ノ丸観光株式会社
ホテルニューオータニ鳥取



奥田 保明氏
明穂整形外科



6月卒業例会を終えて

情報委員会 委員長
平井 義一

青年中央会、16年度最終事業の卒業例会を担当いたしました。当初から6月を担当する事はわかっていましたが、私自身4月のフラワーが終わり5月の委員会報告が終わりまして打上げ旅行も終わってしまい、ローテンションのままの企画、準備でしたが、そこは有能な情報委員会の皆さんのガンバリで当日を迎える事ができました。

当日、卒業例会の前に臨時総会もあり、新役員承認では勝原新会長を中心にフレッシュな面々が壇上に上がり皆さんに承認をいただきました。勝原新会長の真剣な表情が印象的でした。引き続きOBの方、卒業生が入場され卒業例会が始まりました。

ちなみに我が情報委員会からは栗崎さんが卒業生として参加されました。委員会内では会報誌の発刊を担当していただき、尽力いただきました。ありがとうございました。

今期卒業生は6人おられました。他の卒業生の方も栗崎さん同様それぞれの委員会、持ち場で青年中央会を支えていただいた事と思います。これからもピカピカに輝いて現会員の手本となっていたいただきたいと思います。ゴルフのOBじゃないから大事にしますヨ!!

全会員の皆様のおかげで6月例会が成功裏に終えた事、感謝いたします。ありがとうございました。

新年度「勝原年度」スタート

KAN

感

動

DOU

新

副会長
井上 法雄

コーディネート
委員会

30年を一つの世代とすると、17年度東部青年中央会は、新世代であるネクストジェネレーションへと突入いたします。瀧本会長年度から受け継いだいくつかのキーワードをコア（その集大成は時代に挑み、次代を創る）とした青年中央会活動、30年度岡本会長年度での次世代への試み『挑戦』、そして31年度勝原会長のテーマである『ビジネスに特化』という明確なコンセプト、そして当会が進むべき方向であり基本方針である『感動』を提供できるというビジョンを共有し、次世代の青年中央会への新しい船出を、会長の指示された方角をしっかりと羅針盤を見つめ、また、暗礁を回避しながら進んでいく会員の皆様方をサポートできる副会長としての重責を果たしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

役

副会長
牧浦 康寛

メンタリング、
コントラクト
委員会

平成17年度、勝原新会長のもとで副会長をさせて頂くこととなりました。「会」にとってすごく重要な29年目、30周年を委員長、県出向役員という立場で経験、勉強させて頂き、『変わろうとしていく「会」』の活動に参加できたことは、自分にとっても非常に貴重な体験でしたし、感謝しております。

31年目の今年度は実践の年です。「ビジネスに特化する会」を目指していくなか、「感動」をテーマに会員のみなさんが経営者・リーダーとして勉強・実践し、自社にフィードバックできる活動になるよう微力ながら頑張っていきたいと思っております。

はじめての副会長ですが、みなさま一年間よろしくお願いいたします。

員

の

副会長
谷口 昌弘

セカンド
プロジェクト
委員会

昨年に引き続き副会長をさせていただきます。昨年より今年が進化している年にしていきたいと思っております。東部青年中央会は4つの挑戦をきっかけ、時代の変化の中で更に成長し続ける団体を目指しています。「ビジネスに特化した会」のイメージを作り上げ、会員個人が会員企業が勉強になる、更には其の実践をしていく発想を持つ（創り上げる）ことが出来る。英知・友愛・団結のもと素敵な魅力ある青年中央会にしていきたいと思っております。

この度はビジネスチームを西根副会長と担当します、お互い協力して一年間盛り上げたいと思っております。楽しく頑張り結果が出せる会にしたいです。またフラワーの実行委員長も兼務ですので、中央会のアピールも積極的におこなって行きます。皆様の御協力宜しくお願いします。

抱

負

副会長
西根 伸吾

ドリームアクト、
クリエイションビジネス
委員会

30周年も終わり岡本会長年度から勝原会長年度へ変わり新体制の下、副会長と親子ふれあい24時間実行委員長という大役を任せられ不安と期待の狭間のもと頑張っていきたいと思っておりますが、私の性格上『目標達成は必達！』主義なので、まずは担当委員会が盛り上がり『この委員会に属して良かった』『青年中央会に入って良かった』『いろんな勉強ができて良かった』と思ってもらえるような青年中央会創りに貢献できたらと思っております。

若輩者ではありますが青年中央会への思いは誰にも負けないつもりでいますので、会員皆様と一致団結して頑張っていく所存でございます。

今後ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

(私のテーマ)WIN!WIN!の関係を大切に!

メンタリング委員会

委員長 櫻井 幸浩
副委員長 林 正太郎

当委員会は「自分育て、人育て」をテーマに福島正伸先生の【尊敬される管理職の心得】を題材に、メンタリング・マネジメントの手法を勉強しながら自立型人材育成について一年間学んでいきます。メンタリング・マネジメントとは、メンターによって、メンバーの可能性を最大限に発揮させることで、企業の生産性を無限大まで高めようとする手法です。メンターとは、わかりやすく言うと「相手をやる気にさせる人、本気にさせる人」と言えます。会員同士が支援を考え、青年中央会に参加することで夢や時間(とき)を共有し、ビジネスやプライベートで仲間の輪が広がっていき、会全体の結束が生まれると思います。

まさに綱領の如く「・・・お互いの友愛を深める」です。

セカンドプロジェクト委員会

委員長 八木 智一
副委員長 鶴巻 順

本年委員会を運営するにあたって一番の目標は「感動ある委員会」であるようにしたいと思っています。委員全員が出席したいと思う委員会を目指します。

この委員会では二次創業をビジネスチャンスと捉え、指定管理者制度を中心に情報収集による知識の向上、ニュービジネスの発掘をおこないたいと考えています。

青年中央会を通じて1社でも多くの会社に利益をもたらす委員会になるよう頑張りますので皆様も温かい目で見守ってください。

クリエイションビジネス委員会

委員長 鳥越 宣孝
副委員長 米村 英明

みなさん、こんばんは。
この度クリエイションビジネス委員長をやらせていただきます鳥越です。

クリエイションビジネス(C・B)とは経営を創造する、という意味合いで名前をつけました。

個人商店から企業へ というコンセプトで会員企業業績アップを目標として、過去の経験を活かして一年間がんばります。

どうぞ宜しくお願いします。

新委員長の抱負

ドリームアクト委員会

委員長 千馬 高広
副委員長 星 宗治

このたび、平成17年度ドリームアクト委員会の委員長を勤めさせていただきます千馬高広と申します。昨年はドリームゲート委員会として、山根委員長の下、委員会内で事業アイデアを出し合い、最後にビジネスプランとして1つの案を提案いたしました。そして、今年度その思いを引継ぎ、ドリームアクト委員会は、このプランを現実のものとするを目標に頑張りたいと思います。そして、出資者が【利益】を享受できたら...いや! 絶対そうしましょう!! みんなで儲けましょう!!!

なかなか上手くはいかないと思いますが、中央会皆さんの理解とご協力でひとつひとつ、クリアして行きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

来年の6月に「なんかこの委員会よかったよな。」と、ドリームアクトの皆さんに言われたらオーケーかなと、欲張りつつ、ご挨拶とさせていただきます。

コーディネート委員会

委員長 清水 隆文
副委員長 常田孝一郎

コーディネート委員会では、1年間を通じて管理面の強化に重点をおき、活動していきたいと思っております。会の行事の運営を行っていく上で必要不可欠なのは打ち合わせと資料です。その土台の上に各会員が協力し合い、会の活動を盛り上げていけると思っています。見やすい・分かりやすい・作りやすい資料の作成・定着化を行うことと情報の共有化、伝達の速さをデスクネットを活用することにより会の運営方針である「独自価値」を高め、様々な効率化が図れると思っております。そしてそのことを自社に展開することにより、管理面の強化、業務の効率化、コスト削減につながればと考えます。どうぞ宜しくお願い致します。

コントラクト委員会

委員長 井上 誠
副委員長 池口 哲夫

本年度コントラクト委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました。勝原会長の方針(ビジネスに特化した会)を目指します。

『あなたはどれだけ自分の会社をアピールし、相手に対して共感、感動を与え、買いたい気持ちにさせる事が出来ますか?』という問いに対し、自社企業を共感が持てるほどアピールすることが出来ればビジネスはもっと成功するのではないかと! 同じ様に中央会の中でもビジネスチャンスが発生するのではないかと! 今よりビジネスに特化した会になるのではないかと! と思っています。コントラクトとは『契約』と言う意味があり、本業強化をテーマに自社をより深く知り、共感 感動を与えるスキルを学び、自社にフィードバックし日々の営業活動に役立て、結果コントラクト(契約)を自ら発生させる事を目標とし、1年間牧浦担当副会長、池口副委員長、委員会の皆さんと共に活動を行いたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

INFORMATION

平成17年度 役員会・例会・三役会 / 日程 (予定)

平成17年度	役員会	例会	三役会	平成17年度	役員会	例会	三役会
	ニューオータニ	ニューオータニ			役員会	ニューオータニ	
	7月7日(木) 新旧役員会	21日(木) 通常総会	28日(木)		1月5日(木)	19日(木)	26日(木)
	8月4日(木)	20(土)・21日(日) 親子ふれあい24時間	25日(木)		2月2日(木)	16日(木) 臨時総会	23日(木)
	9月1日(木)	22日(木)	29日(木)		3月2日(木)	16日(木)	30日(木)
	10月6日(木)	20日(木)	27日(木)		4月6日(木)	16日(日) フラワーフェスティバルイン湖山池	20日(木)
	11月4日(金)	17日(木)	24日(木)		5月8日(月)	18日(木) 臨時総会・委員会活動報告	25日(木)
	12月1日(木)	15日(木) クリスマス例会	22日(木)		6月1日(木)	15日(木) 卒業例会	29日(木) 新旧三・四役会

INFORMATION